

令和6年度版 小学校

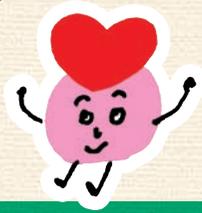
# 道徳

きみが いちばん ひかるとき

学習指導書のご案内

先生方の授業を  
サポートします！

研究編 p.2



朱書編 p.8

指導者用デジタル教科書(教材) p.10  
(学習指導書付属DVD版・クラウド版)



学習者用デジタル教科書 p.13



サポート資料 p.14

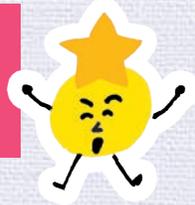


指導計画の立案や評価、教材分析などに役立てていただけるように編集しました。1教材につき、6ページで構成しています。

授業のねらいを捉える

授業でねらいとする道徳的価値を端的に表し、ねらいや指導内容について教師が押さえるべき内容を丁寧に示しました。

指導案作成時に必要な情報が、全てそろっています！



教材の活用のポイントを押さえる

ねらいに沿った授業が展開できるように、教材の特質や活用のポイントを丁寧に提示しました。

教科書 P.34-43 指導時期 6月第1週

**7 友だち屋**

【内容項目】B(9) 友情、信頼 【主題名】友だちとは

**ねらい**  
 キツネに自我関与して友達との関わりを考えたり、自分自身の友達との関わりを考えたりすることなどを通して、友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする態度を育てる。

**ねらいとする道徳的価値について**  
 友情とは、友達の間で、相手の立場を尊重して思いやる心である。それは、友達どうしが慰め合ったり、かばい合ったりするものではなく、ときには叱咤激励し合いながら互いに人間性を高めていくとする心情である。  
 友達の存在は、人格の形成においても大きな役割を果たす。具体的には、同年代の友達どうして共にさまざまな活動をする中で、対人関係における喜びや悲しみを味わったり、友達のよさを学んだりしながら社会性や道徳性が養われていくことが挙げられる。また、同じ目的や目標に向かって学び合うことで、自らの資質や能力を高めていくことも人格の形成につながる。  
 友情の本質は切磋琢磨であるといわれている。切磋琢磨は、本来は、骨、角、石、玉などを切って磨くことであり、学問や技芸を磨き高めること、さらに、友達どうし、互いに励まし合い競い合って高め合うことという意味がある。友達の解釈は多様であるが、学校や職場などで同じ目的や目標がある同等の相手として交流している人と考えることが一般的である。学校では、同じ学年で同じ学習目標に向かって学び合う同年齢の人、つまり同級生は友達といえる。  
 友達と互いに理解し、信頼し、助け合おうとする態度を育てるために、学校生活のさまざまな場面で、友達どうし、理解し合うことのよさを考えさせるようにしたい。

**児童の実態について**  
 この時期の児童の友達関係は、低学年における同じ幼稚園、保育所の出身、家が近所、保護者どうしが親密などの理由で形成されていた友達関係から、同じ志向の者どうしが仲間集団をつくり、他の集団から一線を画して独自の行動をしようとする傾向が見られることが多くなる。教育活動全体を通じて行う道徳教育においては、友達どうして理解し合うことのよさは、3年生からスタートした社会科や理科などでの、グループ学習において、協働して問題解決をする中で実感できるようにした。また、学級活動では、友達のよいところを発見し合う活動を行った。  
 その結果、友達のよさを積極的に見つけようとする姿が見られるようになった。いっぽうで、自分と異なるグループの児童については、無関心な態度を取ることも散見された。  
 こうした実態から、個々の児童が自分自身の友達に対する考え方を振り返り、友達と理解し合うことのよさを感じたときの思いを考えられるようにしたい。

1 ページ目

2 ページ目

**教材活用について**

▶▶▶ 教材の概要  
 本教材は、キツネが友達を求めている人に、友達として相手をする「友だち屋」を始める。クマとは食事を共にして、苦手なイチゴを食べる。クマは上機嫌で、友達だからクマと呼べという。次にオオカミに呼び止められ、トランプの相手をする。代金を請求すると、本当の友達から金を取るのかと言われ、キツネはオオカミからの友情の心地よさを感じながら家路につく。

▶▶▶ 教材の特質  
 内容項目B「友情、信頼」を中心に、ねらいとする道徳的価値を「友情」として活用する。主人公のキツネとクマとのやり取りからは、クマの「友だちと食べるイチゴはいちだんとうまい。」「…友だちじゃないか。クマでいい。」といった話からは、友達と共に過ごす喜び、友達との関わり合いの喜びが感じられる。  
 また、オオカミとのやり取りからは、「おいキツネ。」「なんだい、友だち。」「…友だちから金を取るのか。」「…そうだ、本当の友だちだ。」などから、友達関係のよさや温かさ、本当の友達の大切さなどが感じられる。  
 いっぽう、教材の中には、友情が友達に対する思いやりに根ざしていることから、内容項目「親切、思いやり」の「親切」、また、「相互理解、寛容」の「寛容」などの道徳的価値が含有している。これらの道徳的価値については、「友情」を多面的に考えさせる際の参考にしたい。

▶▶▶ 教材活用のポイント  
 本時でもっとも考えさせたいことは、友達と理解し合うよさを感じたときの思いである。そこで、児童をキツネに自我関与させて、「友だち一時間百円。」と言っていたキツネが、帰るときには「何時間でもただ。」と言ったのはどんな考えからか。」と問い、友情をかけたときの思いを考えさせ、友情について価値理解を図る。また、ともすると友達関係を表面的に考えがちな思いを自分事として考えさせるために、キツネが友だち屋を始めようとしたときの思いを考えさせる。さらに、友情をかける側、かけられる側、双方の思いを多面的に考えさせるために、オオカミが「本当の友だちだ」と言ったときの気持ちを考えさせてもよい。

**教材分析**

発問の意図	発問
もっとも考えさせたいこと	自分自身の友達に対する考え方を振り返り、友達と理解し合うことのよさを感じたときの思いを考えさせる。
中心的な発問	「友だち一時間百円。」と言っていたキツネが、帰るときには「何時間でもただ。」と言ったのはどんな考えからか。
	表面的な友達関係を考えがちな思いを考えさせる。 キツネは、どうして「友だち屋」をしようと思ったのか。
	友達関係のよさ、温かさを求めようとするときの気持ちを考えさせる。 オオカミは、どんな気持ちで「本当の友だちだ」と言ったのか。

学習の効果的な展開のしかたをつかむ

学習を効果的に展開できるように、ねらいの実現に向かってどのように発問構成がなされているのかを、わかりやすく図示しました。

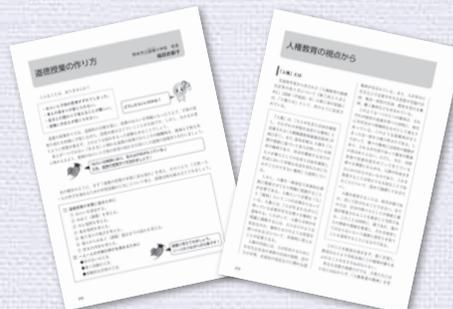
児童の実態を踏まえて授業の核心を捉える

授業の核心が捉えられるよう、児童のこれまでの学習状況や実態と、それを踏まえて児童に考えさせたいことを明示しました。

研究編には

よりよい授業づくりのヒントとなる解説も所収されています。

- ☑ 道徳授業の作り方
- ☑ 特別支援教育の観点から
- ☑ 人権教育の観点から など



授業の導入とてびきの分析

導入と「考えよう・話し合おう」「つなげよう」に示した問いについて、意図や留意点などを解説しています。教材研究や、発問を構想する際などにお役立てください。

先生ご自身の授業を組み立てるのに参考となる情報を丁寧に示しました！



授業の展開を考える

教科書のてびきの内容に沿った、授業の展開例(A案)を示しています。中心的な発問や補助発問、児童の反応例などを明示することで、授業をイメージしやすくしました。

Wordのデータつき！

3 ページ目

授業の導入とてびきの分析

授業の導入

●君にとっての「友だち」って、どんな人かな。  
友達は、児童の生活の中で重要な位置を占める存在であり、これまでの経験の中で悩むことの多かった存在でもあろう。児童のもっている、友達というものに対するさまざまなイメージを出させ、この時点でも、多様な「友達観」があることにふれさせたい。また、学習の終盤で、ここで出合ったことと、話し合いを通して考えた「友達観」を比較すると、新たな価値に気づくこともできるだろう。

考えよう・話し合おう

●キツネは、どうして「友だち屋」をしようと思ったのでしょうか。

3年生の児童は、自己中心的な考えから脱しきれない様子も散見される。このことは、友達関係の構築においても見られることであり、例えば友達との関わりにおいても、友達の考えを理解しようとせずに、自分の思いを通そうとしたり、自分の意向に従う者だけが友達関係を保とうとしたりする。こうして構築された友達関係は、表面的な友達関係となる。

本時の学習の中心は、「友達と理解し合うよさを感じたときの思い」を考えることである。そこで、その布石として、表面的な友達関係を構築しようとするときの思いを自分事として考えさせる発問を設定する。

キツネが友だち屋を始めた真意は、文中には表現されていないが、友達の要求を金銭を得てかなえる打算的な考え方を捉えて、児童がキツネに自我関与して、表面的な友達関係を構築しようとするときの思いを考えさせることとした。

●「友だち一時間百円。」と言っていたキツネが、帰るときには「何時間でもただ。」と言ったのは、どんな考えからでしょう。

本時の学習の中心である「友達と理解し合うことのよさを感じたときの思い」をキツネに自我関与して考えさせる発問である。3年生の児童の友達関係を構築する際の課題は前述の通りであるが、友達どうし理解し合うことが大切で

あることは、ほとんどの児童は分かっていることであろう。そこで、表面的な友達関係を構築しようとしていたキツネが「何時間でもただ。」と言った背景にある友達どうしが理解し合うこと、つまり、クマやオオカミとの関わりによさや温かさを感じたときの思いを、「友だち一時間百円。」と言っていたキツネが、帰るときには「何時間でもただ。」と言っていたのは、どんな考えからか」として問うのである。

●「友だちとは、どんな人のことか、話し合いましたか。」

児童一人一人が、本時の学習を通して今までの自分ももっていた友達に対するイメージを確かめ、友達と理解し合うことのよさを感じたときの思いを基に、「友達観」を交流できるように対話を促す。

つなげよう

●「友だち屋」がいたら、君は、どう声をかけられるかな。

授業後に、児童に、もし友だち屋が「友だちはいいませんか。さびしい人はいませんか。友だち一時間百円…」とやって来たら、どのような声をかけるかを問いかけてみる。1時間の授業で考えた友達と理解し合うよさを感じたときの思いに関わる意識の持続化が期待できる。

参考

【参考文献】

- ・「おれたち、ともだち！」シリーズ 内田麟太郎（借成社）
- ・「ともだちや」から始まる絵本のシリーズ11冊。友達の在り方を考えることができる。

他の教育活動や現代的な課題等との関わり

- ・国語「もっと知りたい、友だちのこと」
- ・学級活動「よりよい人間関係の形成」
- ・いじめ防止

出典 「ともだちや」内田麟太郎（借成社）

4 ページ目

授業の展開例 (A案)

	学習活動 (主な発問と予想される児童の反応)	指導上の留意点、指導の工夫
1 3分	▶「友達」についての考えを出し合う。 ○あなたにとって、「友達」とはどんな人ですか。 ・いっしょに遊ぶ人。・話をして楽しい人。 ・困っているときに助けてくれる人。	・児童ももっているこの時点でのイメージを多く聞き取り、多様な考えがあることを感じ取らせておく。 【考えよう・話し合おう】友だちとは、どんな人でしょう。
2 39分	▶「友だち屋」を読んで、話し合う。 ①キツネは、どうして「友だち屋」をしようと思ったのでしょうか。 ・お小遣いをかせごう。 ・どのくらいもうかるか楽しみだな。 ・友達を欲しがっている人がいるかな。 ・寂しい人の相手をしてあげよう。 ・「友だち屋」をすれば、いろいろな人たちに会えるかな。 【補助発問】オオカミは、どんな気持ちで「それが本当の友だちか」と言ったのでしょうか。 ・友達は物をあげたり、もったりするものではないのに残念。 ・せっかく友達と楽しく遊んでいたのに悲しい。 ・僕の気持ちがどうして伝わらないのだろう。 【中心的な発問】 ②「友だち一時間百円。」と言っていたキツネが、帰るときには「何時間でもただ。」と言ったのは、どんな考えからでしょう。 ・友達といっしょに遊ぶのは楽しかった。 ・友達が自分のことを考えてくれてうれしい。 ・友達といっしょに食事をしたり、遊んだりして友達の気持ちがよくわかった。 ・友達が自分のことを考えてくれたり、友達のことを考えたりすることは大切だ。	【主体的な学び】ともすると自己中心的な考えで友達と関わろうとするときの思いを、児童をキツネに自我関与させて考えさせ、人間理解を図るようにする。 ・商売としての「友だち屋」が利益を上げたいという思いだけでなく、多様な感じ方、考え方に会えるようにする。 ・打算的な友達関係、表面的な友達関係に対する親和的な友達関係に対する気持ちを、児童をオオカミに自我関与させて考えさせる。 ・友情をかける側の心情を自分事として考えさせることで、多面的な思考を促すようにする。
	③友だちとはどんな人だと考えますか。友達と話し合ってみよう。 ・自分のことを考えてくれる人。 ・心がつながっているのが友達。	【対話的な学び】友達と理解し合うよさについて、一人一人の児童に考えさせようとして、よさを感じたときの多様な感じ方、考え方に会わせるために、グループによる話し合いを設定する。この話し合いは、考えを集約するものではないため、「友達のいろいろな考え方を知らう。」という投げかけを行うようにする。 【課題活用】グループ全員の考えを共有できるアプリを活用して、自分の考えを深める。
3 3分	▶教師の話を聞く。 ▶「学びの記録」にシールを貼る。 ○今日学習したことを「学びの記録シール」から選んで、「学びの記録」に貼りましょう。	・本時でもっとも考えさせたい「友達と理解し合うことのよさ」を視点に、自分自身を振り返らせる。 ・「分かって」で振り返りが難しい場合は、「分かってもらったこと」、「分かってあげたこと」をそれぞれ考えさせるようにする。 ・友達との関わり、理解し合うことのよさを振り返ったことを基に、児童一人一人の友達に対するイメージを確認して、他の児童との交流を通して多様な感じ方、考え方に会わせる。 ・友達と理解し合うことのよさを感じた体験談を話す。 ・「学びの記録シール」の中から、当てはまるものを選んで貼るように促す。

教師の主な支援と留意点

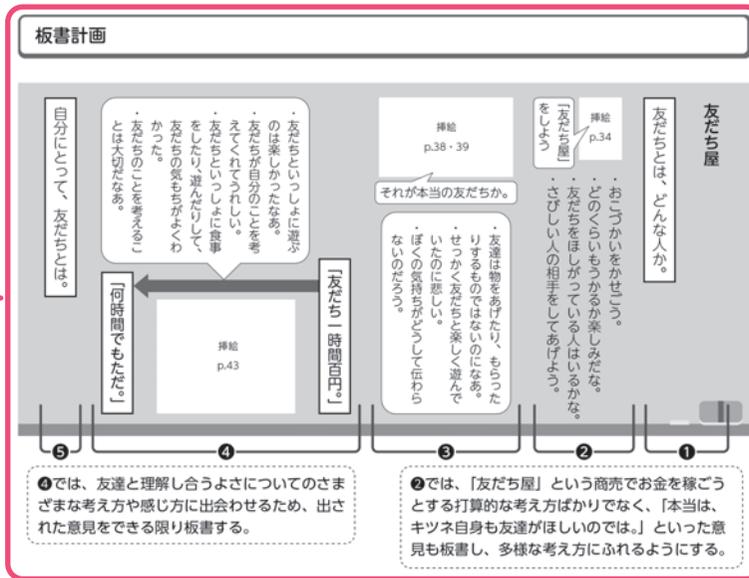
発問の意図や着眼点、問い返しのヒントなどを簡潔に示しました。特に、「主体的な学び」「対話的な学び」を意識したい部分がわかるように見出しを立てました。また、授業の中でタブレット端末が活用できる場面も掲載しています。

他の教育活動や現代的な課題等との関わり

教材と他の教育活動や現代的な課題等との関わりのほか、適宜、家庭や地域との連携についても記しました。

効果的な板書のために

授業展開と板書の対応がわかるように、まとめごとに番号を付し、板書のポイントを示しました。挿絵等のデータは、指導者用デジタル教科書(教材)(学習指導書付属DVD版・クラウド版)から入手可能。印刷したり投影したりして活用できます。



5 ページ目

評価の視点

本時の指導では、「友達と理解し合うことのよさ」を感じたときの思いを考えさせることが中心となる。このことを、児童が主人公キツネに自我関与して考えさせることを学習の中心として、「友だち一時間百円。」と言っていたキツネが、帰るときには『何時間でもただ。』と言ったのは、どんな考えからでしょう。」と中心発問を投げかけている。最も重視すべき評価の視点は、キツネに自我関与して、「友達と理解し合うことのよさを感じたときの思いを考えているか」ということになる。こうした学習状況を把握する主たる方法としては、中心発問に対する児童の発言、発言に対する問い返しの応答、グループによる話し合いの状況の把握が挙げられる。

また、本時で行われた道徳科の特質として示されている具体的な学習の状況を把握することを勘案すると、以下のような評価の視点も考えられる。

- ◆道徳的価値の理解 : 表面的な友達との関わりを、キツネに自我関与して考えている。(人間理解)  
親和的な友達との関わりを、オオカミに自我関与して考えている。(価値理解)
- ◆自己を見つめる : キツネやオオカミに自我関与して、自分事として友達関係を考えている。  
自分自身の友達関係や友達に対するイメージを考えている。
- ◆多面的に考える : さまざまな友達関係のありようを考えている。

評価の視点を押さえる

1単位時間の授業における評価の視点が明確になるよう、児童に最も考えさせたい事項に即した児童の学習状況の例を具体的に示しました。

多様な展開のヒントに

ほぼ全ての教材に、A案とは異なる展開のB案を掲載。オリジナルの授業を構想する際などにご活用いただけます。

6 ページ目

授業の展開例 (B案)

[B (9) 友情、信頼] 理想的な友達関係の在り方をオオカミの言動から考えさせる展開

学習活動 (主な発問と予想される児童の反応)	指導上の留意点、指導の工夫
<p>1 (3分)</p> <p>▶友達との関わりを振り返る。 ○友達がいてよかったなあと感じたことはありますか。それは、どんなときですか。 ・いっしょに遊んで楽しかったこと。 ・筆箱を忘れたとき、鉛筆を貸してくれたこと。 ・けがをしたとき、いっしょに保健室に行ってくれたこと。</p> <p>友達と仲よくするために大切なことを考えよう。</p>	<p>・児童の友達についての考え方を、友達の存在のよさを視点として想起させる。</p>
<p>2 (39分)</p> <p>▶「友だち屋」を読んで、話し合う。 ①クマはどんな気持ちで「友だちじゃないか。」と言ったのでしょうか。 ・友達なんだから、「さん」なんて言うのはおかしい。 ・ぼくのほうが大きいけど、同じようにしたほうがいい。 <b>【主体的な学習】</b> ②オオカミは、どんな考えで「それが本当の友だちか。」と言ったのでしょうか。 (インタビュー：) 「オオカミさんは、どんな考えで『それが本当の友だちか。』と言ったのですか。」 (オオカミ役の児童) ・いっしょに仲よく遊んだのに、お金を取るなんて友達じゃない。 ・キツネに仲よしの友達になってもらいたい。 ・自分は初めから本当の友達だと思っていたのに、お代なんて言ってほしくない。 ③オオカミのいちばん大事な宝物をもらったキツネは、どんな気持ちだったでしょう。 ・こんなに大切なものをもらっていいのかな。 ・僕のことを大切に考えてくれてうれいし。 ・オオカミは、僕の本当の友達だ。 ④あなたは、友達と仲よくするために、どのようなことを大切にしてきましたか。 ・友達が喜んでくれるようにすること。 ・自分がされて嫌なことをしないこと。 ・いっしょに遊んだり、勉強したりすること。 ・友達がしてほしいことを考えること。</p>	<p><b>【主体的な学習】</b> 友達に親しみを込めて接するときの気持ちを、クマに自我関与して考えさせる。 ・クマへの自我関与を深めるために、「クマさんだって。…友達じゃないか。」という言葉を使わせてから、友達に親しみを込めて接するときの気持ちを表現させるようにする。</p> <p><b>【主体的な学習】</b> 児童が考えている「本当の友達」に対する考え方を想起させるために、オオカミに自我関与して考えさせるようにする。 <b>【対話的な学習】</b> 教師がオオカミになりきった児童にインタビューをする役割演技を活用して、「本当の友達」に関する多様な考え方を引き出すようにする。 ・オオカミ役の児童が一言で終わらないように、問い返しをして児童の即興的な演技を促すようにする。 ・演技を見る児童に対しては、自分がオオカミ役だったらどう答えるかを考えるように助言する。 ・温かな友情をかけられたときの気持ちを、キツネに自我関与して考えさせる。 <b>【主体的な学習】</b> 温かな友情をかけられたときの気持ちを、自分事としてじっくりと考えさせる。</p>
<p>3 (3分)</p> <p>▶「友達はいいな」を歌う。 ▶「学びの記録」にシールを貼る。 ○今日学習したことを「学びの記録シール」から選んで、「学びの記録」に貼りましょう。</p>	<p>・児童が大切にできたことを発表するとき、可能な限りそう考えるに至ったエピソードを問うようにする。 ・友達と仲よくするために大切にすることの多様性を考えさせるために、座席を離れて行うフリートークを取り入れる。</p> <p>・「友達はいいな」 繁下和雄作詞・小山章三作曲</p> <p>・「学びの記録シール」の中から、当てはまるものを選んで貼るように促す。</p>

A案とは異なる言語活動や体験的な学習(役割演技等)を取り入れたり、A案とは異なる内容項目で扱ったりした、多様な展開例を用意しました! タブレット端末の活用を取り入れた展開例も紹介しています。

学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法について解説した「デジタル活用ガイド」を、別冊で用意しています。

授業を行うのに必要な情報を精選し、教科書の紙面上に書き込みました。授業をしながら、手控えとして活用することができます。

着目すべき「学びの姿」

本時における具体的な評価の視点を、道徳科の目標に即して示しました。

27

**評価の視点**

- 道徳的価値の理解  
相手の気持ちを考えて親切にすると、自分も気持ちがいよいに気づいている。
- 自己を見つめる  
普段、誰に対しても、温かい心で接しているかと、自分を見つめている。
- 多面的・多角的に考える  
つい意地悪をしてしまう気持ちと、人に親切にしたいという気持ちの両面から、誰に対しても親切にすることのよさや難しさについて考えている。

27

**朱字** ▶うさぎが自分の言うとおりにする姿を見て、自分は強いんだぞ、と威張っている「えへん、へん。」であることを捉えさせる。→発問①

「えへん、へん。」  
「おおかみは、いいきもちです。」  
「それから」というもの、  
「おおかみは、このいじわるがおもしろくなりました。」

**青字** ▶「おおかみは、うさぎをにらみつけました。」  
「おれが わたって きたのに きがつかなかったのか。もどれ、もどれ。」  
「うさぎは、しかたなく うしろにもどりました。」



**板書計画**

はしの うえの おおかみ  
だれかにしんせつにするよ、  
どんなきもちになるでしょう。

挿絵 P.95  
「えへん、へん。」  
「おおかみは、いいきもちです。」

挿絵 P.97  
「へんさんみたいだ、やせへて、  
なぐさやいけな、  
やせしくされるよ、こんなうづ  
わしいんだ。」

挿絵 P.98・99  
「このあつのおおかみは、  
・しんせつにしたらうさぎもあんなにきもちよ  
・いじわるな行動をするのよさや難しさについて考えている。」

**板書計画**  
てびきの問いに沿った板書計画です。「研究編」の板書計画と連動しています。

**本文中の書き込み 朱字**  
てびきの問いに関わる着眼点を示しました。授業のポイントが短時間で確認できます。

**本文中の書き込み 青字**  
特別支援教育の観点からの留意点など、児童がつまづきそうな箇所について解説しています。

27

研究編 p.176  
指導時期 1月2週  
学習指導要領との対応  
B 親切、思いやり

**主題**  
しんせつに すると

**ねらい**  
うさぎやきつねなどに意地悪をしていたおおかみが、くまに親切にされて心を入れ替える姿を通して、相手に親切にすることのよさについて考えさせ、相手のことを思いやり、優しく接しようとする実践意欲と態度を育てる。

**あらすじ**  
おおかみは、1本橋を渡るとき、自分より小さな動物に会うと、相手に戻らせていい気分になっていた。ある日、自分より大きなくまに出会ったとき、くまはおおかみを抱き上げて渡らせてくれた。その後、おおかみはどの動物も抱き上げて橋を渡し、以前よりいい気分になったのだった。

**導入**

みんなは、つい、意地悪をしてしまったことはありませんか？  
↓日常生活や学校生活の中で、つい、意地悪をしてしまった経験があるか、そのとどんな気持ちだったかを想起させること、教材中のおおかみの気持ちを共感的に考えていけるようにする。

**指導のヒント**  
この時期はまだ、発達段階から、自己中心的な考え方がちがちな。また、人は、自分よりも弱い存在があることで優越感を抱きたいがために、偏った接し方をしてしまうこともある。このようなことから、友達などに対して、つい、意地悪な言動をしてしまった経験のある児童は少なくはないだろう。そのときの状況や気持ちを想起させる。クラス内の人間関係に関わる投げかけなので、発表はさせずに想起させるだけにす。

**発問①**  
●おおかみは、くまの後ろ姿を自送りながら、どんなことを考えていたでしょう。  
↓くまの親切にふれたおおかみの気持ちの姿容に気づかせ、深く考えさせたい。

**ねらい・あらすじ**  
教材のねらいとあらすじを簡潔に示しました。

**展開例**  
教科書のとびきの問いごとに、問いの意図や指導のヒント、児童の反応例を示しました。

特別支援教育の観点や、タブレット端末活用の観点からも解説をしています。



教材理解の時間を短縮するためのツール、児童の感性を刺激する朗読や、興味・関心を引き出すビジュアル資料など、多彩なコンテンツやデータを収録しています。



「あらすじ」を確かめよう

物語教材のあらすじを簡単に確認することができるコンテンツです。3年以上の教材に収録されています。

てびき

教科書の「考えよう・話し合おう」に示された、学習のテーマを収録。モニター表示はもちろん、印刷することもできます。



教材のあらすじを、簡単に捉えることができます。児童の教材理解を助けます。



挿絵・写真・図版

教科書の挿絵・写真・図版の画像データをほぼ全て収録。



4年「25 年賀状に書いたゆめ——奥原希望」

パソコンやタブレット端末から、挿絵や写真を簡単に印刷することができます。モニターに表示したり、ペープサートなどに使ったりすることが可能です。



朗読音声

全ての教材に、声優による朗読音声を収録しています。特に、物語教材では、第一線で活躍している方々にご協力いただきました。

参加声優

- 玄田哲章 (アーノルド・シュワルツェネッガー吹き替え、「くまのプーさん」ティガー役など)
- 白石涼子 (「ハヤテのごとく!」綾崎ハヤテ役、「鬼滅の刃」蜘蛛の鬼(姉)役など)
- 高山みなみ (「名探偵コナン」江戸川コナン役、「魔女の宅急便」キキ役など)
- 富永みーな (「サザエさん」カツオ役、「それ行け!アンパンマン」ロールパンナ役など)
- 緑川光 (「ジョジョの奇妙な冒険 ファントムブラッド」ディオ・ブランドー役など) 他

指導者用デジタル教科書(教材) (学習指導書付属DVD版・クラウド版) ウェブ体験版

URL: <https://www.mitsumura-tosho.co.jp/06s-kyokasho/digital/>



※タブレット端末で読み取ってください。スマートフォンでは、機種によってご利用いただけないコンテンツがあります。

光村図書の国語でも使用されている、まなビューアを採用しました。さらに使い勝手がよくなりました!

紙の教科書と同一の内容がデジタル化されています。画面の拡大・縮小、画面への書き込みはもちろんのこと、特別な支援を要する児童のために、振り仮名の表示や機械音声での読み上げ等の機能を搭載しています。

ワークシート・道德通信

ワークシートは、冊子に加え、PDFデータとWordデータで収録。そのまま印刷できるほか、必要に応じて編集することもできます。道德通信は、学校と家庭との架け橋となるツールです。学習内容を各家庭に伝えることができます。



●あなたは、今までどのような気持ちであいさつをしてきましたか。これから、どのようなことを考えて、あいさつをしていきたいですか。

●ぼくが分かったよな気がした「あいさつや礼儀が大切なわけ」とは、どんなことですか。

●あいさつや礼儀は、なぜ大切なのでしょう。

月 日 15 あいさつって

名前 組 番

5年「15 あいさつって」p.80-83 ワークシート

教師用授業ノート

授業前・授業中・授業後とマルチに活躍するノートを、データでご用意しました。

第 回 年 月 日 ( 曜日 ) 校

教科名 内容項目

1. わらい

2. 発問案 (発問の種類: 中心的発問・テーマ発問・補助発問 (な))

発問の種類 発問案 時間

3. 板書計画

4. 授業中の顕著な言動等

名前(番号) : 先生 名前(番号) : 先生

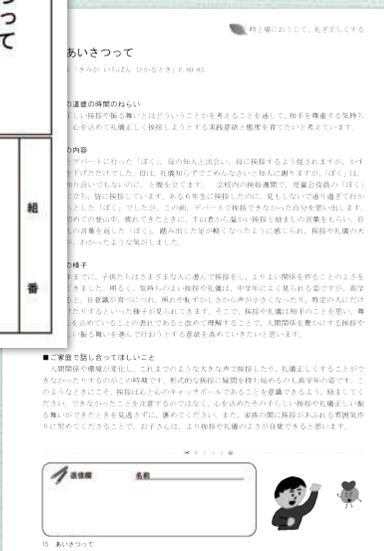
5. 児童の発言や様子 (記号等で簡単に記入)

6. 備考 (授業についての振り返り、写真やプリント等の添付)

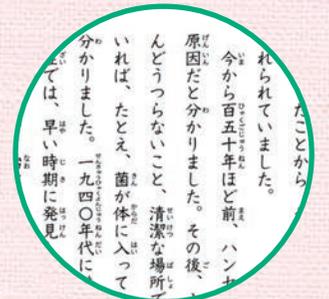
**授業前に**  
授業準備に役立ちます。

**授業中に**  
児童の発言や態度などを書き留めておくことができます。

**授業後に**  
先生ご自身の授業の評価・改善につなげることができます。また、児童の学習状況を見取る大きな手がかりとなるので、「大きくりな評価」に生かすことも可能です。

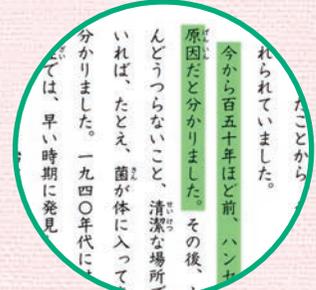


5年「15 あいさつって」p.80-83 道德通信



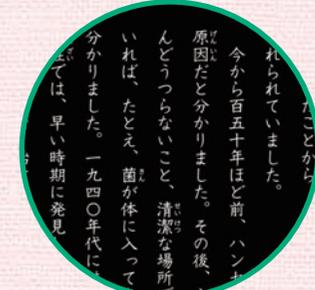
全ての漢字に振り仮名を表示

ボタン一つで全ての漢字に振り仮名を付ける機能を搭載しています。漢字を読む負担を軽減します。



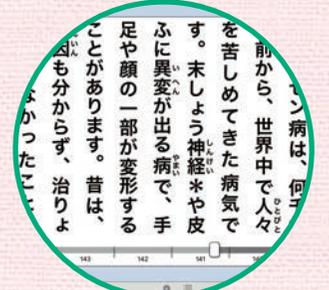
機械音声による読み上げと強調表示

選択した部分の文字を機械音声で読み上げます。また、読み上げている箇所につくことで、「どこを読んでいるのか」「どこを読めばいいのか」がすぐにわかります。



文字の色、背景の色の変更

白黒反転機能の他、紙面の背景色(5色)の変更ができる機能を搭載しています。白い背景ではまぶしさを感じてしまう児童も、自分に合った色を選択できます。



リフロー機能

文字を大きく表示することができます。また、見やすい書体や大きさに変更したり、行間を広げたりすることもできます。

学習者用デジタル教科書ウェブ体験版

URL: <https://www.mitsumura-tosho.co.jp/06s-kyokasho/digital/>



※タブレット端末で読み取ってください。スマートフォンでは、機種によってご利用いただけないコンテンツがあります。



デジタル教科書の詳しい活用方法については、「デジタル活用ガイド」もご覧ください。

デジタル活用ガイド

評価業務支援シート

氏名を入力し、Excelの表から三つの項目を選ぶだけで、道徳の授業における、児童の評価文例を作成することができます。

子どもの姿	No	通知表見文例 (前半)	文字数	指導要録 見文例	文字数
友達の話をよく聞いていた	1	友達の思いや考えにしっかりと耳を傾けながら、考えていました。	30	友達の思いや考えにしっかりと耳を傾けながら学習していた。いろいろな考えを聞きながら考えを深めた。これからの自分について深く考える姿が見られた。	70
主人公に自分を重ねていた	2	教材の主人公に自分の思いを重ねながら、新しい見方や考え方に気付く姿が見られた。特に「およねいりさん」では、互いの違いを受け入れて仲よくすることの大切さについて友達の声に耳を傾け、考えを広げていました。	41	教材の主人公に自分の思いを重ねながら学習していた。友達と話し合う中で、新しい見方や考え方に気付いた。友達の声にしっかりと耳を傾け、考えを広げました。	70
友達の意見に共感できていた	3	自分が感じたことを素直に発言したり、友達の意見に共感しながら学習することができました。	42	自分が感じたことを素直に発言したり、友達の意見に共感しながら学習していた。友達の意見に共感しながら学習していた。友達の意見に共感しながら学習していた。友達の意見に共感しながら学習していた。	70
ワークシートに自分の考えをしっかりと書いていた	4	道徳的価値についての自分なりの考えをワークシートやノートにしっかりと書くことができました。	45	道徳的価値や事例の思いについて、自分なりの考えをしっかりと書くことができました。ワークシートやノートに書いています。何を大切にすべきかを真剣に考える姿が見られた。	73
友達と積極的に話し合っていた	5	道徳的価値について友達と積極的に話し合い、多様な考えに傾きながら学習することができました。	46	道徳的価値について友達と積極的に話し合う中で、道徳的価値について様々な考えに傾き、多面的・多角的に深く考える姿が見られた。	61
自分事として、進歩を考えていた	6	教材について自分事として考え、これから何を大切にしていきたいかを真剣に考えることができました。	48	教材の内容を自分事として考え、道徳的価値について深く考える姿が見られた。今後、自分がどうしていきたいかを自分の将来に向けて考えている姿が見られた。	78
自分の生活を振り返っていた	7	道徳的価値について、これまでの自分の生活を振り返りながら、何を大切にしていきたいかを真剣に考える姿が見られた。	54	道徳的価値について、これまでの自分の生活を振り返りながら、何を大切にしていきたいかを真剣に考える姿が見られた。今後、自分がどうしていきたいかを自分の将来に向けて考えている姿が見られた。	70
登場人物と自分を重ねていた	8	教材の登場人物に共感し、自分の経験と重ねながら考えていました。	31	教材の登場人物に共感し、自分の経験と重ねながら学習していた。自分を振り返り、多面的・多角的に深く考える姿が見られた。	60
登場人物の心と自分を重ねていた(2)	9	教材の登場人物の心をこれまでの自分と重ねながら学習に向き合う姿が見られた。	35	教材の登場人物の心と自分を重ねながら学習していた。自分を振り返り、多面的・多角的に深く考える姿が見られた。	58
登場人物の心と自分を重ねていた(3)	10	登場人物の心と自分を重ねながら学習に向き合う姿が見られた。	42	教材の内容をよく理解し、登場人物の心と自分を重ねながら学習していた。道徳的価値について深く考える姿が見られた。	68
登場人物の心と自分を重ねていた(4)	11	主人公の気持ちを自分と重ねながら深く考えることができました。	32	登場人物の気持ちを自分と重ねながら学習していた。道徳的価値について、主体的に考え、自分事として考える姿が見られた。	65
役割演習などで自分の考えを出せた	12	役割演習を通して、自分の思いや考えを積極的に発表することができました。	36	役割演習を通して、自分の思いや考えを積極的に発表することができました。道徳的価値についての考えを深めた。	72

1 コピー＆ペーストで、名簿データを入力することができます。

2 12の「成長した姿」の項目の中から、特にその児童に当てはまると思うものを選びます。

出席番号	氏名	成長した姿を選択	読書だった教材を選択	結び(文末)を選択	出席番号	氏名	通知表文例	字数	指導要録文例	字数
1	光村太郎	2	15 およねいりさん	4	1	光村太郎	教材の主人公に自分の思いを重ねながら、新しい見方や考え方に気付く姿が見られた。特に「およねいりさん」では、互いの違いを受け入れて仲よくすることの大切さについて友達の声に耳を傾け、考えを広げていました。	104	教材の主人公に自分の思いを重ねながら学習していた。友達と話し合う中で、新しい見方や考え方に気付いた。友達の声にしっかりと耳を傾け、考えを広げました。	70
2		10	10 ダンゴムシのまるちゃん				登場人物の心の動きをこれまでの自分と重ねながら学習に向き合う姿が見られた。特に「きらきら」では、身の回りの不思議さや美しさを感じ取る心を大切にしようと考えを深めていました。	93	教材の内容をよく理解し、登場人物の心の動きをこれまでの自分と重ね合わせながら学習に向き合い、道徳的価値について考えを深められた。	68
3		10	20 おでこのあせ				自分が感じたことを素直に発言したり、友達の意見に共感しながら考えたりすることができました。特に「もうすぐお正月」では、家族の一員としてどんな気持ちでいることが大切かについて自分と重ねながら深く考えていました。	104	自分が感じたことを素直に発言したり、友達の意見に共感しながら学習していた。友達の意見に共感しながら学習していた。友達の意見に共感しながら学習していた。友達の意見に共感しながら学習していた。	70

3 成長が特に顕著に見られた教材を選びます。

4 文末の表現を五つの項目の中から選びます。

番号	文字数
広げ	11
深め	11
深く考え	10
自分と重ね	18
耳を傾け	21

完成した文例

氏名	通知表文例	字数	指導要録文例	字数
光村太郎	教材の主人公に自分の思いを重ねながら、新しい見方や考え方に気付く姿が見られました。特に「およねいりさん」では、互いの違いを受け入れて仲よくすることの大切さについて友達の声に耳を傾け、考えを広げていました。	104	教材の主人公に自分の思いを重ねながら学習していた。友達と話し合う中で、新しい見方や考え方に気付いた。友達の声にしっかりと耳を傾け、考えを広げました。	70

4ステップで文例が完成します。

年間指導計画資料

年間の指導計画を立てる際に、ご活用いただけます。学校の実態や方針に合わせた編集が可能です。



月(週)	主題・内容項目・教材名	ねらい	めあて(★)・学習活動(中心の活動は黒丸数字)	「大きく丁寧な評価」のために	他教科・領域や現代的な課題等との関わり
4月(2)	1 道徳が始まるよ	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲と態度を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのだろう。 ①教科書P4・5「道徳で学ぶ22のとびら」を見て、これまでの道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんなことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書P6・7「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について理解する。 ③「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を使って、自分がどんなときに「かっこいいな」と思うかについて話し合う。 ④教科書P8・9「道徳 みちあんない」を見て、これから1年間の学びの見通しをもつ。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでの道徳科の学習を思い起こしながら、これからの道徳科の学習を想起し、期待を膨らませている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 道徳科の学習では、自分で考えるだけでなく、みんなで話し合うことで考えが広がり深まったりすることを感じている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 何を学ぶか、どのように学ぶかを理解し、1年間の学びの見通しをもって、道徳科を学んでいこうとしている。	特別活動(児童会活動) キャリア教育
ねらい	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲と態度を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのだろう。 ①教科書P4・5「道徳で学ぶ22のとびら」を見て、これまでの道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんなことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書P6・7「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について理解する。 ③「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」を使って、自分がどんなときに「かっこいいな」と思うかについて話し合う。 ④教科書P8・9「道徳 みちあんない」を見て、これから1年間の学びの見通しをもつ。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでの道徳科の学習を思い起こしながら、これからの道徳科の学習を想起し、期待を膨らませている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 道徳科の学習では、自分で考えるだけでなく、みんなで話し合うことで考えが広がり深まったりすることを感じている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 何を学ぶか、どのように学ぶかを理解し、1年間の学びの見通しをもって、道徳科を学んでいこうとしている。	特別活動(児童会活動) キャリア教育	
委員会の仕事に不満をもっていた加菜が変更する姿を通して、	★自分の役割を果たすためには、どんなことが大切なのだろう。	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 学校で自分が任されている仕事に、自分はどういうふうに取り			

別葉作成シート

「道徳教育の全体計画 別葉」を作成するためのシートです。光村図書の道徳教科書と、全発行会社の全教科の教科書との関連を示し、採択状況に合った別葉を作成することができます。

教科書の選択画面

教科	教科書会社
国語	光村図書
(書写)	光村図書
社会	-選択-
算数	-選択-
理科	-選択-
音楽	-選択-
図画工作	-選択-
家庭	-選択-
体育(保健)	-選択-
外国語(英語)	-選択-

シートの作成(8年)

月	4月	5月	6月	7月
道徳「きみがいちばんひかるとき」全体計画 別葉 6年(令和2年度～)	1 ぼんぼりからの手紙〜こどもたちへ 2 ねもりのこころ 3 自分を信じて一歩を踏み出す 4 なれなかつたルーの道徳 5 友達の心 6 子ども達のキャンプ 7 道徳 8 この国の未来 9 レンゴの道徳 10 今度は、ぼくの番 11 美のゆりかご〜ママの言葉 12 命の道徳 13 命の道徳 14 命の道徳	1 ぼんぼりからの手紙〜こどもたちへ 2 ねもりのこころ 3 自分を信じて一歩を踏み出す 4 なれなかつたルーの道徳 5 友達の心 6 子ども達のキャンプ 7 道徳 8 この国の未来 9 レンゴの道徳 10 今度は、ぼくの番 11 美のゆりかご〜ママの言葉 12 命の道徳 13 命の道徳 14 命の道徳	1 ぼんぼりからの手紙〜こどもたちへ 2 ねもりのこころ 3 自分を信じて一歩を踏み出す 4 なれなかつたルーの道徳 5 友達の心 6 子ども達のキャンプ 7 道徳 8 この国の未来 9 レンゴの道徳 10 今度は、ぼくの番 11 美のゆりかご〜ママの言葉 12 命の道徳 13 命の道徳 14 命の道徳	1 ぼんぼりからの手紙〜こどもたちへ 2 ねもりのこころ 3 自分を信じて一歩を踏み出す 4 なれなかつたルーの道徳 5 友達の心 6 子ども達のキャンプ 7 道徳 8 この国の未来 9 レンゴの道徳 10 今度は、ぼくの番 11 美のゆりかご〜ママの言葉 12 命の道徳 13 命の道徳 14 命の道徳

各教科の使用教科書を選択するだけで、別葉が作成できます。 ※上の別葉画面は、令和2年度版の内容で作成したものです。

令和6年度版の小学校道徳教科書に対応した「年間指導計画資料」は6月に、「別葉作成シート」は、2024年の1月に光村図書ウェブサイトで公開する予定です。また、「評価業務支援シート」は、指導者用デジタル教科書(教材)に収録される予定です。

# 光村図書 特設ウェブサイト

4月中旬公開予定

## 令和6年度版 小学校 「道徳」教科書のご紹介

教科書編集の基本方針、構成の特色、現代的な課題への対応、掲載教材等について、教科書紙面と共にご紹介します。

## 学習指導書のご紹介

令和6年度版小学校「道徳」学習指導書のご案内。「指導者用デジタル教科書(教材)(学習指導書付属DVD版・クラウド版)」ウェブ体験版もお試しいただけます。

## ダウンロード資料

「年間指導計画資料」「道徳教育の全体計画 別葉」「観点別 内容と特色」等をダウンロードすることができます。



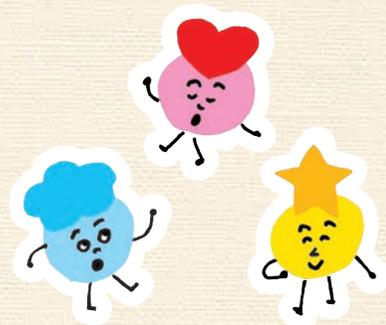
<https://www.mitsumura-tosho.co.jp/06s-kyokasho/dotoku/>



# 拡大教科書



弱視の児童の学習上の負担を軽減するために作成したものです。教科書を単純に拡大するのではなく、より読みやすい文字の大きさと書体とし、図版や写真についてもレイアウトを工夫しています。



本資料に掲載されている学習指導書等の紙面は、編集のため変更になることがあります。また、学習者用デジタル教科書、指導者用デジタル教科書(教材)の収録内容、仕様などに関しても、開発中のため変更になることがあります。

## 光村図書出版株式会社

内容解説資料  
発行者:吉田 直樹  
発行所:光村図書出版株式会社  
〒141-8675  
東京都品川区上大崎2-19-9  
電話:03-3493-2111(代表)  
印刷:協和オフセット印刷株式会社  
デザイン:陽々舎

## 光村図書ウェブサイト

光村図書

検索

